

自己評価報告書（令和5年度）

給田小学校

本報告書で取り上げている項目は、来年度に向けて重要な内容を取り上げ以下に記載している。

重点目標

3・74（年度末）

- ・いつでもどこでも自らすすんで「挨拶」ができる児童の育成

成果 顔を見て挨拶ができるようになってきた。

課題 引き続き、挨拶を励行していく必要がある。

提案 児童への声かけとともに、教職員間でも明るく挨拶をしていく。

豊かな心と体の育成

4・3（年度末）

- ・高学年児童の主体的な取り組みを低学年のあこがれにつなげ、児童の自尊感情を育てる

成果 縦割り活動、鼓笛など高学年の活動への興味関心が高い。

課題 先輩のものを見て学んでいるが、他学年との関わりが少ない。

提案 コロナの終息状況を見て、活動の幅を広げていく。

確かな学力の形成

3・26（年度末）

- ・学習習得確認調査で、どの教科も区の平均に近づけるための授業の工夫ができた。

課題 平均に近づけるための授業の文言がどうなのか。テストのための学びを推奨してしまうことになる。

提案 「学習習得確認調査の結果から示された改善の重点を受けて、授業の工夫ができたに文言を変える。

開かれた組織

4・22（年度末）

- ・支援が必要な児童について教職員全体で理解し、指導にあたることができた。

課題 6年生にも、学習サポートがいればついてほしい。支援者の人数が足りていない。そのため、新規の児童にあてるサポートがない。

提案 必要な支援を情報共有しつつ、優先順位をつけて対応していく。

安全・安心

3・92（年度末）

- ・オープンスペースを活用するなどして、教育環境を充実させることができた。

課題 各学年で、工夫できれば、スペースをとっていきたい。

提案 4年生前のスペースが広々として、学年集会などに活用している。実態に応じてだか、児童が落ち着くスペースにしていきたい。

地域運営学校

3・62（年度末）

- ・児童のボランティア活動を推進することができた。

成果 6年生が地域でお世話になった方へ、ボランティアを進めることができた。

課題 各学年で、系統的に進めていく必要がある。

提案 総合的学習で、3年生以上で計画を立て、高学年に向けて系統的に進めていく。